

にしあいつ

10

2011

(平成23年)



ゴールへ向かって力走



P 2～9 地域の活力を取り戻すために

P 10 平成23年度敬老会

P 11 各地区で町民運動会・体育祭開催！

P 12 9月議会定例会

商工業者の皆さんを応援します

地域の活力を取り戻すために

2

西会津町の人口は、昭和の大合併時の1万9293人を最高とし、年々減少が進み、若者の流出とあわせ、高齢化も加速し、現在ではおよそ40%の高齢化率となっており、県内でも上位の過疎の町となっています。

自分たちの力だけでは集落活動を存続していくことさえも困難な状況になりつつあるところもあります。

そんな中にあっても、自分たちの住む地域の特色や資源を生かし、地域の方々が一丸となって、元気な地域づくりに懸命に取り組もうとする団体が町内にあります。

それぞれの団体とも、自分たちの生まれ育った町の将来に夢を抱き、まずは自分たちでできることから始め、自らの手により元気で活力ある地域を取り戻そうと活動しています。

今月号では、町内で元気なまちづくりに取り組んでいる6つの団体を紹介します。

奥川地域づくり会議



活動の目的

奥川地域づくり会議（三瓶純一会長）は、人口減、少子高齢化が著しく進む奥川地区にあって、地域に住む人たちが将来にわたっていきいきと希望を持つてこの地で暮らすことを願い、地域の活性化を目指して、地元にある農産物や豊かな景観などの魅力ある資源を活用した各種活動に平成21年6月から取り組んでいます。

現在の会員数は35人で、主な課題ごとに分科会を作り、それぞれの課題について、さまざまな立場からこれからの「奥川」について熱い議論を交わしています。

これまでの活動

奥川地域づくり会議が設立される前は「R459奥川会議」として、平成20年11月から「地域づくりとは何か」「地域資源を生かした地域づくりを進めるには」などについて幾度となく話し合ってきました。

奥川地域づくり会議の設立後は、全体会での話し合いのほか、3つの分科会でそれぞれの課題に対する検討や実践に取り組んでいます。

◆第1部会

遊休施設の活用をテーマに遊休農地を活用したソバの栽培に取り組み、平成21・22年には旧奥川保育所を会場にして新そばまつりを開催してきました。今年も、奥川寄宿舍で7月から月1・2回のペースで「そば処おく川」を営業しており、11月3日には第3回目となる新そばまつりを開催します。

◆第2部会

景観整備をテーマに活動しています。向原地区、真ヶ沢地区から見ると高陽山や大舟沢地区幕の内から見る飯豊山などについて、国道459号沿いの景観の良い場所を喜多方建設事務所がビュースポットとして整備し、奥川地域づくり会議では、菜の花で彩るプロジェクトや案内看板の設置などを進めています。

◆第3部会

農林産物の加工販売をテーマに活動しており、奥川寄宿舍を活用して、地元で収穫される野菜や山菜を原料とした加工品づくりに取り組んでいます。また「そば処おく川」の営業に合わせ、地元で獲れた農林産物など販売する「軽トラ市」を開催しています。

これからの目標

これまで行ってきた活動から得た経験を生かし、さらに発展させて、収益や雇用の確保なども見据えながら、奥川地区の活性化のために活動していきます。

寺前・自然塾

活動の目的

寺前・自然塾（長谷沼清吉塾長）は、新郷地区の正源寺前にある休耕地復元などに取り組んでおり、環境、生態系、景観の保全・維持を目的に、地元の方を中心に平成22年6月に設立、現在はおおよそ30人で活動しています。

また、この活動を通して体験型観光を主体としたグリーンツーリズムにも取り組み、都市部との交流を進めながら地域の活性化にも取り組んでいます。

これまでの活動

昨年は、休耕地を整備してソバの栽培を行いました。また、梅の木のオーナーを募り、都会の人たちとの交流、体験型観光の基盤づくりに力を入れてきました。秋には、収穫したソバを使って「蕎麦の会」を開催。地元だけでなく首都圏からも多くの方が参加しました。

さらに、冬には西会津元氣グリーンツーリズム協議会と連携し「雪国ツアー交流会」を開催。訪れた皆さんに歳の神、雪下ろしなどを実際に体験してもらいました。

今年は、地域に自生しているアオソ、クロソを使った草木織り講習会に参加し、指導者の育成に取り組みしました。

また、休耕地の復元を進め、ナタネの栽培とソバの作付面積の拡大も行っています。梅の木の植樹、蕎麦の会の開催や山菜を使った季節料理を味わってもらうなど、都会に住む方々には普段体験することのできない体験の場の提供により、集客と交流を図っていくことにしています。

9月には、宮城教育大学いぐね研究会の集落活性化事業を受け入れ、交流会を実施しました。

これからの目標

引き続き、休耕地の復元を主に農業振興などの活動に取り組みながら、西会津元氣グリーンツーリズム協議会や国際芸術村と連携して都市との交流を積極的に進め、元氣な地域づくりを進めていきます。



天空の郷



活動の目的

天空の郷（田崎眞平代表）は、小杉山自治区を含めた上谷地区（長桜、泥浮山、程窪自治区）で、大学生の力を生かし集落の活性化を共に考えていくことを目的とした、県事業の「大学生の力を活用した集落活性化事業」の受け入れをきっかけに、平成22年から地域住民により活動を始めました。

この活動には、宮城教育大学の仙台いぐね研究会（小金澤孝昭教授）が関わり、学生という「外からの力」を活用して、地域の魅力について再発見をし、それを活用した活性化を進めるという趣旨のもと、積極的な取り組みが展開されています。

組織の名称は、大学生が訪問した際、当地の景色の眺めに感動し、その素晴らしい立地から命名されたものです。

この活動に伴う調査の結果、地域にある豊かな資源を再確認し、それらを生かすことによる地域づくりについての提言がありました。地元では幾度となく話し合いを重ね、この機会を逃すことなくできることから始めようとの機運が高まり、地域全体の活気を取り戻す活動をしています。

これまでの活動

まず、普段の生活で忘れてしまった地域の魅力を再確認しあうことが大切と考え、学生の協力を得て、各種調査、意見交換や懇談会を重ねました。その結果、地域の特徴を生かした山菜の生産、加工組合の設立、湧き水の水質検査の実施や先進地の視察などが計画されました。また、学生との交流を重ねる中で地域が明るく活発になり、現代的な学生、出身地の違いによる異文化を知ること、改めて地元を見つめ直すことができました。

今年度も学生を受け入れ、さまざまなアドバイスを受けながら、ウド、ゼンマイ、ワラビなどの山菜栽培地の造成や商品生産、販売の方法などの検討などを行っています。10月には、住民のための景観・地域づくり、廃校舎を活用した農家レストランの運営に取り組む山形県金山町の視察を計画しています。

これからの目標

地域に眠る豊かな資源を生かし、地域経済の活性化と集客を図ることとしています。具体的には、水場の整備、山菜の生産・加工技術の向上による加工販売、県百名山である飯谷山周辺を中心とした里山整備に取り組む予定です。

さらには、遊休施設を交流の場・活動の拠点として活用しながら人との交流をより一層深めていきます。

西会津元氣グリーンツーリズム協議会

活動の目的

西会津元氣グリーンツーリズム協議会（田崎敬修会長）は、町内での農家民泊や、さまざまな体験プログラムを計画・立案し、体験型観光を主としたグリーンツーリズム（※1）に取り組むことで、地域の活性化と関係者全員が元気になることを目的に、平成21年12月に設立されました。

個人・団体合わせて30会員が登録しており、滞在型グリーンツーリズム宿泊の受け入れ、グリーンツーリズム実践者の育成や体験型観光プログラムの作成・情報発信を行っています。

これまでの活動

昨年度は、先進地視察や勉強会を重ねながら、モニターツアー（※2）として、野菜の収穫体験や蕎麦打ち体験などを行うこともサマーチャレンジ、町内を歩きながら散策する越後街道ウォーキングツアーや寺前・自然塾と連携した雪国ツアーなどのほか、農家民泊の推進のため、セミナーや相談会を開催しました。

今年度は、会津管内の小学校など10校495人の宿泊学習の受け入れを中心に、行っており、秋には、モニターツアーや東松ウォーキングを行うなど、精力的に活動を進めています。

これからの目標

平成25年から事業が本格実施される「子ども農山漁村交流プロジェクト」の受け入れを目指します。そのためにも「いつ」「どこで」「だれが」「何を」行っているか分かるよう体験プログラムの整備をしていくとともに、インストラクターの養成や、農家民泊開業に向けたバックアップを行っていきます。

西会津元氣グリーンツーリズム協議会では、町外の人々が西会津での生活を体験することで元気になるとともに、町内の人々も町外の人との交流を深めることで元気になるといったことで、町全体の活性化を目指します。

※1 グリーンツーリズムとは

農山漁村地域で自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。滞在の期間は日帰りから長期的または反復的な場合までさまざま。

※2 モニターツアーとは

参加者の要望を的確に把握・対応するための試験的なツアー。



野沢まちなか再生プロジェクト

活動の目的

野沢まちなか再生プロジェクト（田崎敬修座長）は、野沢町内の抱えるさまざまな課題を地域住民、関係団体が共有し、その解決に向けた意見やアイデアを自由に話し合いながら、野沢を活気に満ちた将来も安全・安心・快適に生活していくための取り組みなどを検討していく組織として、平成22年7月に設立しました。NPO法人素材広場理事長、つむぎ企画代表の横田純子さんをアドバイザーとして迎え助言をいただいています。

メンバーは、野沢町内に住んでいる方、町内で働いている方や町職員などで、現在は商店数や人通りも少なくさびしい状況となっている野沢町内を、かつての越後街道宿場町の賑わいを取り戻そうと活動しています。

これまでの活動

プロジェクトが立ち上がったからこれまで、話し合いをはじめ、まちなかの散策、先進地視察やまちづくり団体との合同発表会など12回の会議を行ってきました。

会議では野沢の活性化、快適に暮らすためのアイデアが50以上出され、その中から実際に取り組んでいく5つの事業を選び出し、今年度から実際に動き出しています。

①暖簾・屋号・標柱設置事業

まちなかに、かつての宿場町の雰囲気を取り戻すため、暖簾、屋号や史跡などに標柱と説明板を設置します。

②まちなか六斎市事業

江戸時代の定期市であった六斎市を復活させ、地元で取れた農林産物や特産品を中心とした市を開催しています。

この事業は、プロジェクトの第1弾企画として、7月から月1回開催しており、新鮮野菜、漬物などの加工品、惣菜や手作りの手芸品などが出店され、好評を博しています。現在は、道の駅を会場にしていますが、今後は野沢のまちなかで開催する予定です。

③各店自慢の一品づくり事業

各商店の自慢の一品（食べ物）や特色を生かして新たに開発した一品をPRし、まちなかで食べ歩きできるように仕掛けづくりを進めています。

④お休み処／待合所設置事業

まちなかの空き家や空き店舗などを活用して、誰もがいつでも自由に出入りできるお休み処の設置を検討しています。

⑤ラッセル／ロータリー車移設事業

西平に展示されているラッセル車とロータリー車は、国内に2カ所（本町と北海道名寄市）にしか展示されていない非常に貴重なものです。これらをまちなかへ移設できないかを検討します。

これからの目標

それぞれの事業を着実に進め、そのうえですべての事業を連携させ、野沢のまちなかに人を呼び込める仕組みづくりを進めます。

町内の方だけでなく町外からも多くの方が訪れ、当時の宿場町のような活気と賑わいを取り戻すため活動していきます。



若者まちづくりプロジェクト

活動の目的

若者まちづくりプロジェクトは、町内の若者が町の課題を把握し、課題別に検討することで、地域の活性化を図るとともに、人材育成と仲間作りを目的に、平成22年12月に設立されました。

メンバーは、町内在住・在勤の概ね18～45歳の60人です。若者から出された提案をテーマに分類し、以下の6チームから成り立っています。

- A 道の駅売上アップ
- B 特産品加工品開発
- C 野沢空店舗活用
- D グリーンツーリズム推進
- E 遊休施設・空家活用
- F まちじゅう観光企画（観光資源の見直し発掘・イベントの開発等）

これまでの活動

本プロジェクトでは、立教大学特任教授の清水愼一氏をアドバイザーとして迎え、月1回程度会議を開催しています。昨年2月には野沢まちなか再生プロジェクト、グリーンツーリズム協議会との合同発表会を行いました。この発表会には町の各種団体や日頃から地域づくりに携

わっている団体など約1000人が集まりました。

また、今年9月23日には、全国から十数万人も訪れる「町屋の人形さま巡り」をはじめ、さまざまな町おこしを行っている新潟県村上市を視察しました。

この若者まちづくりプロジェクトでは、話し合いを通して、さまざまな提案がなされました。

A 道の駅売上アップ

- 季節感を出した販売戦略
- 観光情報案内所としての機能充実
- 幅広い年代に受け入れられるイベントの実施

B 特産品加工品開発

- 伝統の食文化や工芸品のパッケージやネーミングの工夫
- 野菜パウダーを使った新たな特産品の開発

C 野沢空店舗活用

- 空き店舗を活用した「週替わり蕎麦屋」

D グリーンツーリズム推進

- 大人向けツリーハウスの作成
- 体験プログラム、観光スポットを網羅したパンフレットの作成

E 遊休施設・空家活用

- 公共施設を活用した西会津体験施設
- 放射能の影響で外で遊ぶことのできない子どもたちの受け入れ施設として活用

F 供養施設（ペット斎苑）としての活用

- まちなかナイトウォーク
- 道祖神めぐり
- こゆりちゃんを探そう

これからの目標

今年度は、各チームにおいて、今まで出てきた提案の事業計画、収支予算を作成します。また、今年度実施できるものについては、実行に移していきます。11月には、昨年同様に地域の活性化に向けた合同発表会を実施し、その中で事業計画や収支予算を提案します。なお、実施可能な提案については、実施に向けた予算化が図られる予定です。また、今後は若者まちづくりプロジェクトだけではなく、既存の観光や地域づくり団体との連携もしていくことで、町全体の活性化を目指します。





寺前・自然塾塾長
長谷沼 清吉さん
(小清水)
昭和18年生まれ

新郷地区には、国際芸術村があるが「地域おこしに結びついていないのではないか」という声があり、塾を立ち上げました。

国際芸術村関係者の皆様や、水戸市を中心とした応援団との連携を深めながらの活動を基本に据えた活動です。

2年目となり会員も増え、4つの専門班を設けたので、これからはより充実した塾を目指します。

花火のような派手さを求めず、身の丈に合った息の長い活動を通して“地域に元気を”“会員には豊かな人生を”と願っています。

決して無理をせず、できることから取り組んでいくことをモットーに活動を続けていきます。

都市の人口過密化と地方の高齢・過疎化による、都市と地方の経済・文化・教育・医療などの格差は拡大する一方ですが、このことを嘆くよりは行動です。

田舎の山河と暮らしには、都市の人々を一時の喧騒から解放し、癒しと潤いを与えるパワーがあります。また、都市の人々が田舎を訪れることによって私たちは、都市の人々から活力をもらい田畑や林野を守っていくことができるのです。そんな思いで2つの活動に参加しています。

県内外から大勢の子どもや大人が来町し、宿場町の雰囲気を楽しんだり、里山や清流に遊んだり、農村の生活を満喫したりして賑わう西会津町が必ずやってくることを信じています。



西会津元気グリーンツーリズム協議会会長
野沢まちなか再生プロジェクト座長
田崎 敬修さん
(芝 草)
昭和23年生まれ

奥川地域づくり会議会長
三瓶 純一さん
(山 浦)
昭和28年生まれ



わが家の長男が10余年前に婿養子に行き、青年会や高揚塾など地域の活動を通して父として背中を見せてきたと思っていた私は、俺の代で終わりと落胆しました。

そんな折、有志の方や喜多方建設事務所からの声掛けにより奥川地域づくり会議の前身である奥川会議に出席しました。話し合いの中で奥川のよさや素晴らしさを再認識し、住み続けられる故郷にしていきたいと思い、その後準備会のメンバーとしてかわり奥川地域づくり会議が結成されました。

奥川を思う多くの先輩方の参加をいただき、今がラストチャンスだという思いで会員全員でがんばっています。

夢と希望があれば、どんな場所、どんな時代でも生きていけると信じ、がんばってきました。身近にある豊かな資源を強みに、これを「人気商品」にしていくことで活力ある地域にしたい。

今、私たちの住む4つの集落では、ここをさらに生き甲斐を持って住み続けられる場所にしていきたいとの共通の希望を持つことができました。大学生の力、行政の支援などにより、このような気運を逃すことなく少しずつでも進んでいきたいと思えます。

まず行動しなければ現状を変えることはできません。5年後、10年後の天空の郷づくりに思いを馳せながら、60代の成熟パワーの英知と汗で、楽しみながら取り組んでいきます。



天空の郷代表
田崎 眞平さん
(長 桜)
昭和22年生まれ

地域づくりに挑むそれぞれの思い

いつまでもお元気で

～平成23年度敬老会～

9月10日に群岡・新郷地区、11日に野沢・尾野本地区の敬老会がさゆり公園体育館で、
18日に奥川地区の敬老会が奥川小学校体育館で開催されました。
それぞれの会場で式典や余興などが盛大に行われ、
長年にわたり町の発展に尽くされた高齢者の皆さんの長寿をお祝いしました。

【女性】	長寿者番付	【男性】
齋藤 ヒサ (105) 堀 越	長寿者番付	三橋 長一 (102) さゆりの園
松崎 トシ (103) さゆりの園		齋藤 庄吉 (97) さゆりの園
三留 モト (102) 6町内		安部 寅次 (97) 上野尻
長谷川キシノ (102) 下野尻		二瓶 喜八 (96) 西 原
三瓶 ヨノ (101) 山 浦		廣瀬 勝 (96) 上野尻
海老名ハルヨ (101) 3町内		猪俣 三郎 (96) 極 入
甲斐 トヨ (100) 4町内		沼澤 東吾 (96) 牛 尾
栗山 ハツ (100) 4町内		海沼 清次 (96) 樟 山
平野キクイ (100) 下野尻		渡部喜一郎 (96) 新 村
大沼サクノ (99) 下野尻		伊藤 信市 (95) 塩
渡部美枝子 (99) 上小島		仲川徳右衛門 (94) 平 明
伊藤シゲノ (99) 10町内		中島 駒雄 (93) 上野尻
齋藤 米 (98) 3町内		宮澤 隆吉 (93) 小綱木
齋藤トラノ (98) さゆりの園		齋藤 實 (93) さゆりの園
高橋ツギノ (98) 堀 越		石田 武八 (93) 小綱木
成田リキエ (98) 上野尻		佐藤 傳 (93) 熊 沢
五十嵐ハル (98) 上野尻		佐藤 佐 (93) 出ヶ原
伊藤エタ子 (98) 7町内		五十嵐伸六 (93) 滝 坂
佐藤 トク (97) 白 坂		雅楽川久太 (92) 宝 川
長谷川ヤチヨ (97) 松 尾		山形 久治 (92) 9の2
長谷川ヨシノ (97) 牛 尾		齋藤 光衛 (92) 上野尻
佐藤 ハナ (97) 極 入		市橋 源二 (92) 上野尻
渡部 久子 (97) 黒 沢		宮川 兵七 (92) 9の1
平野ヨシ子 (97) 下野尻		鈴木 幸男 (92) 松 尾
佐藤 ミカ (97) 橋 屋		秋場 隆城 (92) 小綱木
藤原 文 (97) 芝 草		山本 琴士 (92) 7町内
渡部 とし (97) 8町内		渡部 武彦 (92) 松 尾

※敬老会名簿から 9月15日現在 [敬称略]

今年の敬老会には、754人（野沢190人、尾野本126人、群岡147人、新郷106人、奥川185人）が出席しました。

式典では、今年白寿、米寿と喜寿を迎えられた方々に町から記念品が贈られました。

また、金婚を迎えられたご夫婦には、福島民報社と県老人クラブ連合会から賞状と記念品が贈られました。

式典の終了後は、恒例の余興が行われ、各地区の団体や保育所の子どもたちが歌や踊りを披露し、会場を盛り上げました。

出席した皆さんは、お互いに元気な顔を合わせ、話に花を咲かせていました。



【群岡・新郷地区敬老会から】

- 1_金婚夫婦代表の上野新平さん・富士子さんご夫妻（呼賀）
- 2_謝辞を述べる佐藤信光さん（白坂）
- 3_声高らかに万歳三唱

各地区で町民運動会・体育祭開催！

9月4日、新郷を除く各地区の運動会・体育祭が開催されました。当日は台風の影響が心配されましたが、幸いにして雨も降らず、どの地区も屋外で開催しました。各会場とも笑いや歓声があふれ交流を深めました。

野沢地区運動会

第50回を迎える野沢町内親善大運動会は、西会津中学校第2グラウンドで16チームが参加し、10種目で汗を流しました。今大会は、42回大会から5連覇中の牧チームを抑え、連合（大久保・中野・西平・四岐）チームが優勝しました。

【成績】

- 優勝 連合
- 2位 牧
- 3位 7町内



桐ゲタムカデ競争

尾野本地区運動会



はいらんしょ

天高く晴れわたったさゆり公園多目的広場を会場に、11チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

どの種目でも好プレー、珍プレーが飛び出し会場は大いに盛り上がりました。綱引き合戦では、真剣な勝負に応援もヒートアップ。楽しい1日になりました。

【成績】

- 優勝 上小島
- 2位 森野
- 3位 松尾
- 3位 下小島

群岡地区体育祭

群岡地区体育祭は、旧群岡中学校グラウンドで6チームが参加し、盛大に開催されました。

「大声大会」や「なわなないりレー」など、全部で12の競技が行われ、子どもからお年寄りまで参加し、親睦を深めました。

【成績】

- 優勝 下野尻・端村
- 2位 上野尻C
- 3位 宝川



大声大会

奥川地区体育祭



あなたと2人♡青春リレー

奥川地区町民体育祭は、奥川小学校グラウンドで行われ、13の自治区が参加しました。

「あなたと2人♡青春リレー」（2本のラケットを1つにして、ボールを運ぶ競技）や「これはたまゲタZU」（ゲタ飛ばし競技）などのユニークな名前の競技が行われました。

【成績】

- 優勝 小綱木
- 2位 向原
- 3位 山浦

9月定例会

議会報告

9月9日から16日までの8日間を会期に開かれた9月町議会定例会は、平成22年度決算、平成23年度補正予算など提案された23議案のすべてを可決・承認し閉会しました。

可決・承認された議案

■平成22年度決算の認定
一般会計、特別会計など14
会計



平成23年度一般会計補正予算 (第8次)

町民バス運行の見直しにより、来年度から運行するデマンドバス車両の購入費、福島第一原発事故に伴う放射線量計整備経費、町内商工業者支援を目的とする制度資金の補償料の補助および利子補給経費や中学校施設の改修工事などを新たに計上したほか、新潟・福島豪雨災害の本復旧に要する経費などを追加計上。

平成23年度特別会計補正予算 (国民健康保険特別会計ほか 2会計)

決算に伴う繰越金の確定など

平成23年度一般会計補正予算 (第9次)

県議会議員選挙にかかる費用を計上

■町特別功労表彰者決定の同意



清野 邦夫さん
(大久保)



清野 興一さん
(大久保)



大沼 洋平さん
(2町内)



佐藤 和市さん
(上小島)



金子 和男さん
(5町内)

商工業者の皆さんを応援します

町では、東日本大震災の発生や福島第一原子力発電所の事故により、事業活動に影響を受けた商工業者に対する支援を実施します。

商工業者を取り巻く環境

町では、これまで町内商工業者への支援策として、利子補給制度による金融支援を実施してきました。

しかし、長引く景気の低迷や円高の進行に加え、東日本大震災の発生、それに伴う福島第一原子力発電所の事故により、町内商工業者を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

このため、商工業者の中には、運転資金を確保するために、県の制度資金である「東北地方太平洋沖地震対策資金」や「ふくしま復興特別資金」や中小企業制度資金を利用する業者もありますが、保証料や金利の負担が重荷となっている状況にあります。

このようなことから、町では厳しい経営環境に置かれている町内商工業者に対する金融支援策として、新たに制度資金の保証料の一部補助および現在実施している利子補給制度を拡充することとしました。

具体的な支援策の内容

「東北地方太平洋沖地震対策資金」ふくしま復興特別資金の保証料の3分の1を補助するほか、現在、中小企業制度資金を利用して商工業者への利子補給の額を2分の1から全額に拡充します。

◆信用保証料の補助

対象制度資金・期間

○東北地方太平洋沖地震対策資金

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの借入分

○ふくしま復興特別資金

平成23年6月1日から平成24年3月31日までの借入分

◆利子補給補助

補助対象

平成23年度下期(7月から12月)分

補助率 10/10

【問い合わせ先】

商工観光課商工観光係

☎45-2213



山口国体出場！

五十嵐一樹さん（芝草：喜多方東高2年）が水泳の少年男子A100m自由形で山口県で行われた国民体育大会へ出場しました。五十嵐さんは、7月に郡山で行われた県総合体育大会の同競技で優勝し、山口国体への出場を決めました。

8月30日には、国体の出場報告のため町水泳協会の大沼洋平会長とともに町役場を訪れ、伊藤町長から五十嵐さんに激励金が贈られました。

福島県でNO. 1

8月28日に須賀川市で行われた、第9回県選抜ゲートボール大会のミドルの部（65歳未満）に出場した町ゲートボール協会が、見事、優勝を果たしました。

今回の大会には、協会から監督と選手5人が参加し、4チームの総当たり戦を全勝し、優勝を決めました。

優勝した本町チームは、来年5月に鹿児島県で行われる全国大会へ出場します。



みんなが楽しんだ運動会

9月17日、尾野本保育所で運動会が行われました。

玉入れ、綱引きやリレーなど、子どもたちの一生懸命な姿やかわいらしい衣装でのお遊戯に、応援に駆けつけた保護者の皆さんは大きな声援を送っていました。

また、お父さんやお母さんと一緒に楽しむ種目や踊りもあり、子どもたちは楽しい一日を過ごしました。

災害などに備えて

9月13日、商工会青年部・女性部、ふるさと夏まつり実行委員会から町に対して寄付をいただきました。

今回の寄付は、災害などがあったときのための支援金としていただいたもので、7月に行われたビアガーデンの売り上げと8月に行われた野沢ふるさと夏まつりの協賛金の一部です。

当日は、齋藤拓郎青年部長と篠田キク子女性部長が町役場を訪れ、伊藤町長に支援金を手渡しました。



血圧が高いと感じたら

～生活習慣（こころ）を点検！～

血圧とは

心臓はポンプのように血液を送り出しており、送り出された血液によって血管の内側にかかる圧力が血圧です。血圧は常に変動しており、基準より高い場合を高血圧といふ注意が必要です。

高血圧の状態が続くと、高い圧力によって血液の成分が動脈の内壁に入りこんで、それにコレステロールが加わるなどして動脈硬化を起こします。

動脈が硬くなり心臓への血液の流れが滞ると、血のかたまりがでやすくなります。こうして血管が詰まって心筋が血

液不足になり、狭心症や心筋梗塞を引き起こします。

一方、脳の動脈が硬くなると、心筋梗塞などと同じような過程で脳梗塞が起こります。また、硬くなった細い血管はもろくなり、そこに高い圧力がかかると脳の血管が破れて脳出血が起こります。脳梗塞と脳出血など、脳の血管の障害が原因となって脳が正常に働かなくなることが脳卒中です。

どちらも、一度に大きな発作が起こると、命にかかわることがある恐ろしい病気です。自分の血圧に関心を持って、これらの病気から身を守りましょう。

自分の家庭血圧値を知って健康管理に役立てましょう

血圧は常に変動していますが、一定条件で測定し観察することが大切です。下の生活習慣チェックで5点以上の方は、自宅で朝に血圧を測定することをお勧めします。

町では、昨年から新在宅健康管理システム「こゆり」を導入し活用していただいています。測定内容は、心電図・血圧・脈拍の3項目で体温・体重・歩行数を入力し測定します。

測定結果は、健康支援係へ送信され、内容を毎日保健師が読み取り、月間レポートを測定者へ届けています。自分の健康管理へ、ぜひ活用してみてください。

高血圧の予防と改善5力条

- ① 食事は塩分を控えて薄味にする
- ② 1日に野菜350g・果物200gを取る
- ③ 肥満を解消し適正体重を維持する
- ④ お酒は1日1合かビール大瓶1本を目安にする
- ⑤ 早歩きで30分程度の歩行運動をする



高血圧を招く生活習慣をチェックしてみよう

□ 体重が適正体重より10%以上多い
※適正体重＝身長(m)×身長(m)×22

□ 運動不足である

□ 唐揚げなど動物性脂肪の多い食べ物が好き

□ 塩辛いものが好き

□ お酒を1日3合以上飲んでいる

□ タバコを1日1箱以上吸う

□ 職場や家庭などでストレスが多い

□ 興奮しやすく生真面目で思い込みやすい性格である

□ 両親や兄弟に高血圧の人がいる

□ 65歳以上である

【判定】

- 0 問題なし
- 1～2 生活習慣を見直そう
- 3～4 生活習慣の改善が必要
- 5～8 定期的に血圧測定を！
- 9 早めに医師のもとで血圧管理をしましょう

【問い合わせ先】

健康福祉課健康支援係

福島県市町村対抗軟式野球大会

第5回市町村対抗軟式野球大会が開催され、本町チームは中島村チームと対戦しました。序盤、2点を先行したものの中盤に逆転され、3対6で破れました。惜しくも、昨年に続く初戦突破はなりませんでした。

第5回市町村対抗軟式野球大会は、9月17日に福島市のあづま球場で開幕しました。大会には、県内の市町村から56チームが出場しました。

本町チームの初戦は9月23日、昨年ベスト16の中島村チームが相手となりました。

1回の表、中島村は先頭打者から鋭い当たりをみせます。センターに抜けそうな打球をセカンドの伊藤大輔選手が飛び込んで捕球。1塁でアウトにしました。また、サードの根本史彦選手も痛烈で難しいショートバウンドをうまくさばき1塁でアウトにし、本町に流れを引き寄せました。

その流れを生かし、フォアボールなどで出塁したランナーをバントなどで送り、スクイズを決めるなど、堅実な野球で1回、2回に1点ずつを入れ、3回を終わって2対0とリードしました。

しかし、4回に守備の乱れもあって、3点を入れられ、流れが中島村に向きました。その裏1点を返し、同点に追いつき流れを引き寄せかけましたが、6回にさらに3点を追加され、3対6で破れ、昨年に続く初戦突破はなりませんでした。



先発し好投した斎藤勝利投手

中島村
西会津町

0 0 0
1 1 0
1 0 0
0 0 0
0 0 0
3 6

当日、球場には伊藤町長、選手の家族や野球のスポーツ少年団の子どもたち、野球協会の関係者など、西会津から多くの応援者が訪れました。熱のこもった声援を送り、選手の皆さんと一緒に中島村と戦いました。



応援は負けませんでした

伊藤一男監督のコメント

自分たちの野球である堅実な野球はできましたが、チャンスに打てたか打てなかったかが勝敗を分けました。

それが実力の差でもあるので、そこを改善すれば西会津町チームはもっと強くなれます。

市町村対抗野球西会津町チームメンバー

(敬称略)

監督	伊藤 一男 (下野尻)	内野手	赤城 圭泰 (堀 越)	内野手	西田 裕 (芝 草)
主 将	新田 佳男 (芝 草)	〃	多賀 翔平 (10町内)	〃	佐野 拓也 (松 尾)
コーチ	田中 英喜 (6町内)	〃	藤原 伸 (下野尻)	外野手	加藤喜一郎 (下野尻)
〃	五十嵐章二 (5町内)	〃	星 敬介 (上野尻)	〃	齋藤 淳 (上野尻)
投 手	河瀬 治 (萱 本)	〃	佐藤 広大 (6町内)	〃	渡部 暁 (2町内)
〃	安部 信仁 (安 座)	〃	斎藤 勝利 (熊 沢)	〃	三留 昭生 (下野尻)
〃	滝口 慎 (堀 越)	〃	伊藤 大輔 (出ヶ原)	〃	江川 正樹 (牧)
捕 手	星 光輔 (四 岐)	〃	飯嶋 竜太 (10町内)	〃	佐藤 健吾 (上野尻)
〃	笠間 義崇 (10町内)	〃	根本 史彦 (6町内)		
内野手	井上 宗知 (道 目)	〃	佐藤 雅彦 (6町内)		

町民バトンタッチ



黒澤 京子さん [芝 草]

鈴木 タカ子さん（9月号から）メッセージ
いつもお世話になっています。あなたとお話ししていると元気が出て、人に優しくなれるような気がします。ありがとう。

あなたの趣味は？
絵を描くこと

あなたのモットーは？
なんとかなる

自分を一言で表現するとしたら？
我慢強い

これからやってみたいことは？
孫が大きくなったら孫と旅をしたい

あなたの特技は？
着物の着付け

熱中していることは？
熱中ではないけれど20年近くオリヅルランを育てている

最近感動したことは？
一切経山に登れたことと頂上から眼下に魔女の瞳(湖)を見たときの美しさ

次の方を紹介してください
E・Sさん（大久保）

あなたの宝物は？

『ハイハイ人形』
「私が生まれたときのものです。64年もたっているのでボロボロですが大切な人形です」



町民ギャラリー ～冬芽俳句会～

野分去り髭濃き農夫眼のやさし	鈴木 智子（さゆりが丘）
素足では冷やりと今朝の廊下かな	岩原 紀子（五町内）
誤字のなき亡夫の日記や星月夜	喜多 光子（九町内一）
しなやかにわが身を染めし崖紅葉	鈴木はる子（十町内）
秋の虫米寿の宿で祝ひけり	渡部 淑子（四町内）

聞いて！わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分の想い描いている夢や目標などを話していただいています。

今月は、3年・前サッカー部部長の渡部湧也さんです。

◆わたしの夢

「私の将来の夢はサッカー選手です。きっかけは、小学校のとき初めてサッカーの試合を見てとても感動したからです。それから中学校になってサッカー部に入部しました」

◆心掛けていること

「サッカーで大切なのはコミュニケーションをとることなので、クラスや学校のみんななど多くの人と話せるように努力しています」

◆最後に未来の自分に一言

「将来の自分はサッカー選手になれていますか。もしなれていたらどんなチームに入っていますか。有名な選手と一緒にプレーしていますか？いろいろな問題があるかもしれませんが、体に気をつけてがんばってください」



まちの人口 ～9月1日現在～ (前月比)

人 口	7, 6 8 4 人	(+6 人)
男	3, 7 0 8 人	(+5 人)
女	3, 9 7 6 人	(+1 人)
世 帯	2, 8 4 4 世帯	(+6 世帯)

戸籍の窓口 ～8月受付分～ <敬称略>

お誕生おめでとう

渡 部 礼 士 ^{らいと} く ん	安孝・芳江	3 町内
佐 藤 空 輝 ^{そら} く ん	征樹・ゆかり	8 町内
齋 藤 優 斗 ^{ゆうと} く ん	豊樹・あゆみ	堀 越
伊 藤 陽 和 ^{ひより} ちゃん	善行・礼子	西林東
渡 辺 遼 太 ^{りょうた} く ん	智之・美香	西林東

ご結婚おめでとう

長谷川 茂	中 野
長谷川 麻 矢	会津若松市

長谷沼 徳 義	小清水
五十嵐 美 紀	6 町内

お悔やみ申し上げます

相 原 政 (85)	鬼子男	妻	芝 草
山 口 チヨミ (96)	博 續	母	森 野
秦 英 子 (82)	健 一	母	萱 本
二藤部 正 實 (77)	原田実	父	上野尻
成 田 勇 (92)	美恵子	夫	端 村
五十嵐 ト ミ (93)	敬 子	母	徳 沢
薄 曉 (74)	園 子	夫	呼 賀

皆さんの作品を募集しています

みんなの広場「町民ギャラリー」のコーナーでは皆さんの作品を募集しています。

俳句、絵画や手芸など作品は問いません。

【問い合わせ先】

企画情報課広報広聴係 ☎ 4 5 - 4 5 3 6

出会い・発見・創造

西会津ふるさとまつり

～第26回西会津の文化と産業祭～

毎年恒例の秋のビッグイベント「西会津ふるさとまつり」を10月29日・30日の2日間、さゆり公園で開催します。

西会津の秋を満喫できる楽しいイベント盛りだくさんで開催します。

皆さんお誘い合わせのうえ、ご来場ください。



◆主なイベント

○10月29日(土)

オープニングセレモニー、民俗芸能と民謡の集い、海賊戦隊ゴーカイジャーショー、スゴ技アピール大会、ヘリコプター遊覧飛行

○10月30日(日)

桐ゲタ健康マラソン大会、桐ゲタ投げ全国大会、牛牛フェア、ミュージックFEST A (第1部: 町内愛好者による歌や踊り、第2部: 県内出身アーティストのミニコンサート、第3部: 町民カラオケ大会)、町長杯争奪親善ゲートボール大会

※展示部門は、10月26日(水)からプレオープンします。

各イベントの参加者を募集しています。詳しくは配布されるチラシをご覧ください。

【申し込み・問い合わせ先】

ふるさと振興推進委員会事務局

(商工観光課地域振興係) ☎ 4 5 - 2 2 1 3

【町職員の人事異動】

◎退職(8月31日付)

長谷川 哲也(群岡診療所)

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1 枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】企画情報課広報広聴係

☎ 4 5 - 4 5 3 6

野沢が祭り一色に

9月17日から19日にかけて、野沢の秋祭りが行われ、威勢のいい掛け声にあわせ、みこしや山車が野沢町内を練り歩きました。

こゆりちゃん
トピックス



◆編集後記◆

先日、子どもの保育所の運動会に行ってきました▼今年から保育所に行っているの、私にとっても子どもにとっても初めての運動会でした▼この日に向け？家の中を走り回っていたウチの息子、年少組だし初めてだし、しっかり走ってくれるか心配しながらカメラのファインダー越しに応援していました▼以外にもリレーもかけっこもしっかり走ることができてビックリ▼子どもの成長を感じることもできた運動会でした。

今月の表紙



9月13日、さゆり公園で最後の町小学校陸上競技大会が開催されました。出場した選手の皆さんは、夏を思わせる暑さの中、各種目で自分の力を出し切っていました。

広報にしあいづ
2011 (平成23年)

10月号

発行：西会津町 編集：企画情報課
☎0241-45-2211 (代表)
info@town.nishiazumi.fukushima.jp
http://www.town.nishiazumi.fukushima.jp/



この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。